

東京農工大学大学院農学研究院・農学部テニュアトラック教員
(農業経営・生産組織学 助教) 公募要項

1. 公募の概要

東京農工大学大学院農学研究院・農学部では、本研究院・農学部のテニュアトラック制度に基づき、任期5年のテニュアトラックポストの助教を公募いたします。本制度は、若手研究者を、任期付きで雇用し、将来に亘って活躍できる農学研究院・農学部の優れた教育職員として育成するために、整備された環境のもとに、研究と教育を推進する経験を重ねた後に、教育職員としての適性について公正・厳格な審査を行い、本学講師または准教授のテニュア（任期の定めのない常時勤務を要する教育職員としての身分）を取得させることを目的とするものです。

採用された若手研究者は、原則として独立した研究室の使用が認められ、研究の立ち上げのスタートアップ資金やメンターの配置等の援助が受けられ、学部授業および会議などの業務が常勤教育職員より一部軽減されます。大学院の担当については、別途資格判定して認定されます。テニュアトラック期間内に所定の業績を上げた場合には、任期の定めのない常勤の教育職員としての身分（テニュア）として本学の講師または准教授に採用する予定です。

2. 募集分野および人数

農学研究院 共生持続社会学部門 食糧環境経済学研究分野
兼務先、農学府 共生持続社会学専攻 食糧環境経済学教育研究分野 および、
農学部 生物生産学科 農業経営・生産組織学教育研究分野
テニュアトラック教員（助教）1名

3. 専門分野

農業経済学(農業経営学または農業資源経済学)について教育・研究が行える者。

4. 応募資格

博士の学位を有する者。

5. 予定担当授業科目

大学院科目：地域農業システム特論等

学部専門科目：農業経営学、農業経営経済学総合演習、農村社会調査実習等

全学共通教育科目：経済学等

6. 待遇

給与および福利厚生等の条件は一般の教員とほぼ同じです。

7. 着任時期

平成23年11月1日以降、できるだけ早い時期。

8. 出願書類

- 1) 履歴書（写真貼付、Eメールアドレスの記入）
- 2) 業績目録（学位論文、原著論文、その他の著述、特許などに類別記載）
- 3) 原著論文その他の別刷り（3編以内、コピー可）
- 4) これまでの研究成果の概要（A4 2枚以内）
- 5) 教育実績（担当授業科目等）
- 6) 本学における研究計画概要（A4 2枚以内）
- 7) 本学における教育に関する抱負（A4 1枚以内）
- 8) 応募者に関して問い合わせ可能な者2名の氏名、連絡先リスト

9. 応募締切および選考スケジュール

平成23年8月19日（金曜日） 必着

一次審査 平成23年9月上旬

二次審査（面接）平成23年9月中旬

面接に要する旅費、滞在費は応募者の負担となります。

10. 書類送付先：

〒183-8509 東京都府中市幸町3-5-8

東京農工大学大学院農学研究院農業経済学研究室 山崎 亮一

（テニユアトラック教員応募書類と朱書きし、簡易書留で郵送。応募書類は原則として返却しない）

11. 問合せ先：

東京農工大学大学院農学研究院

共生持続社会学部門・食糧環境経済学研究分野（農業経営・生産組織学）

助教（テニユアトラック）候補選考委員会委員長

山崎 亮一（Eメールアドレス：r-yamaza@cc.tuat.ac.jp Tel 042-367-5864）

農学研究院テニユア付与審査方法・基準の概要

1. テニユア付与審査は、テニユア付与審査委員会（以下「審査委員会」という）において行う。
2. テニユアトラック教員は、当該部門等と合議の上、着任後速やかに研究計画を審査委員会に提出する。
3. 採用後 6 ヶ月以内に審査委員会が、評価基準をテニユアトラック教員に通知する。
4. テニユア付与審査は、テニユアトラック期間中の 3 年目と 5 年目に行う。
5. テニユア付与審査は、テニユアトラック期間中の実績、研究計画書、テニユアトラック教員による自己評価書、前歴の業績も含めた履歴および教育研究業績一覧、研究業績にかかる別刷り及び今後の抱負を含む成果発表（質疑を含む）を通じて実施する。
6. 前項の審議においては、テニユア付与審査委員会が承認した外部評価委員から書面等の方法により、当該テニユアトラック教員の本研究院・学部の審査対象職位のテニユア教員としての適格性についての評価意見を求めた上で、テニユア付与の適否を判定する。